

未来夢創造 教育委員会より

◆照会先 学校教育課 ☎23-7719

教育委員会では、「心豊かでたくましく生きる児童生徒を育てる」を目標に、さまざまな教育活動をしています。今年度は従来からの教育活動に加え、いくつかの新事業を展開しています。今回はそれら事業の状況をご紹介します。

郷土史家から愛宕山の説明を受ける児童（武芸小）



興味津々！ 関市版「寺子屋」事業

地域の専門家を講師として自然・文化・歴史・生き方を学ぶ「寺子屋」事業は、今年度24の小中学校で行われています。内容は、地域との交流や特産物の栽培、伝統芸能の体験、郷土学習などそれぞれの特性を生かしたもの、社会人による進路に関する講話などです。子どもたちはさまざまな体験をしたり、学校とは違う「先生」から話を聞いたりして、「面白い」「地元のことなのに知らなかった」など、新しい学びにワクワクしています。

関市の将来に私たちの提言を！ 中学生リーダー養成研修会

8月23～24日、市内全中学校から42人の生徒が集まり、講話や演習を通してリーダーとしての資質向上を図りました。講師の方々からは「リーダーは夢や目標を持つ」や「学ぶとは真似る」といった貴重な話を聞きました。夜にはキャンプファイヤーを囲み、お互いの交流を深めました。最後に関市の将来に向けた提言を、市長や教育長、教育委員の前で発表しました。参加した生徒たちは「これをきっかけにリーダーとして積極的に活動したい」と決意を新たにしていました。

河川生物から環境問題について語るグループ



高校の授業はDeepな世界?! 中高交流出前授業

9月30日、関商工高校教職員が、旭ヶ丘中学校で3年生に向けて出前授業をしました。昨年度は桜ヶ丘中学校で実施されたものです。国語・数学・英語の普通教科のほか、商業と工業の専門科でも6種類の授業が行われました。生徒たちは初めて経験する高校の授業に緊張しながらも、興味深く取り組んでいました。関商工高校の生徒も39人がサポーターとして参加し、授業の手伝いをしたり中学生の質問に答えたりしていました。授業を受けた中学生は「面白かった。専門高校に行くのが楽しみになった」と嬉しそうに語りました。

Let's マーケティング！
コンビニ経営の授業



本の世界に引き込まれた児童たち（旭ヶ丘小）



心に豊かさと潤いを育む！ 読書推進活動

市内全小中学校で、朝またはその他の時間を利用して全校一斉の読書の時間を設定し、子どもたちが読書に親しむ環境を作っています。中には1年間に200冊の本を借りる子どももいます。また、PTAや地域ボランティアの方による「読み聞かせ」もしています。特に「読み聞かせ」は好評で、読み聞かせてもらった後、すぐにその本を借りに行く子どももいます。他に、お薦め本の紹介をしたり、図書館まつりを催すなど読書活動は広がりをみせています。「読書は楽しい」という子どもたちがどんどん増えています。

伝統の技に感動！ 小学校鵜飼観覧

平成23年度は市内小学校10校・約680人、今年度は11校・約730人の児童が小瀬鵜飼を観覧しました。暗闇の中、かがり火に照らされた伝統ある鵜飼を初めて体験する児童も多く、鵜が鮎を飲み込むと大きな拍手が起こりました。下船後には鵜に直接触れるなどし、普段にはない貴重な体験をすることができました。一緒にいた観光客からも「関市ならではの取り組みで素晴らしい！」との声をいただきました。

見事な手繰さばきに見入る児童たち（富岡小）

